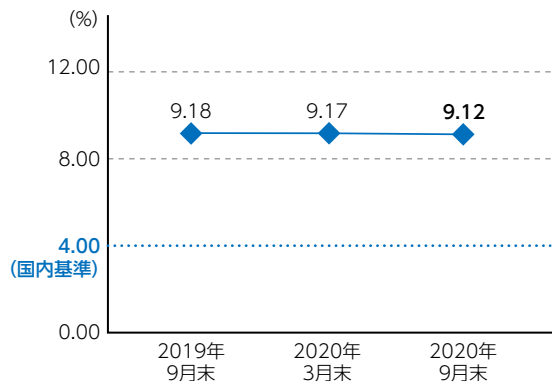


# 経営の健全性について

## Ⅰ 連結自己資本比率の推移

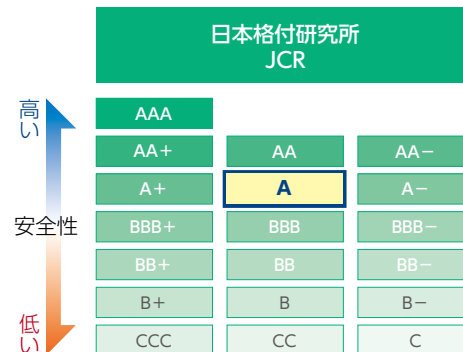
自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。

自己資本比率規制(国内基準)に基づく当行の連結自己資本比率は、2020年9月末現在で9.12%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



## Ⅰ 格付

当行は、日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付について「A」の格付を取得しており、経営の健全性について高く評価されています。



(2020年9月30日現在)

## Ⅰ 金融再生法開示債権の状況

当中間期末の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比13億円増加して562億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は前期末比0.03ポイント低下して1.86%となりました。

### \* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しております。

